

令和2年1月27日

国際医療福祉大学  
学生 各位  
保護者 各位

『海外保健福祉事情』『海外医療体験』  
健康管理担当 医師  
吉田 素文、後藤 純信  
松本 哲哉、加藤 康幸  
矢野 晴美、田川 辰也

## 海外旅行・研修における新型コロナウイルスに関する注意喚起について（注意喚起）

標記新型コロナウイルスに関する注意喚起についてご案内いたします。

海外旅行・研修等で海外滞在中も安全に関する情報を随時受けとれるよう、外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録してください(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html> 参照)。最新情報は厚生労働省ホームページでも確認できます(「中華人民共和国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎の発生について」([https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html) 参照)。上記ホームページをはじめ、現地の最新情報の入手に努めてください。

また、現段階での予防策としては、人混みを避ける、蛇や鳥、その他の動物には触らない、必要に応じて日本からマスクを持参し、咳やくしゃみなどの症状がある場合にはマスクを着用、帰宅時には手洗いと咳エチケット(下記イラスト参照)を励行するなどして感染予防を心がけて下さい。また、主要空港において注意喚起のための掲示版が設置され、アジア地区からの発着便について健康チェックをおこなっている場合があります。授業科目の一環として海外研修に行く場合は、万一発熱、咳、全身倦怠感などの症状が現れた場合は、すぐに引率先生に相談してください。引率の先生を通じて海外研修健康相談センターの医師に相談できる体制を整えております。

### 3つの正しい咳エチケット

### 悪い事例

1. マスクを着用する。



マスクをつけるときは取扱説明書をよく読み、正しくつけましょう。鼻からあごまでを覆い、隙間がないようにつけましょう。

2. ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う。



口と鼻を覆ったティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。

3. 上着の内側や袖(そで)で覆う。



せきやくしゃみを手でおさえる



せきやくしゃみを手でおさえると、その手で触ったドアノブなど周囲のものにウイルスが付着します。ドアノブなどを介して他の人に病気をうつす可能性があります。

何もせずにせきやくしゃみをする



せきやくしゃみをするとき、しぶきが2mほど飛びます。しぶきには病原体が含まれている可能性があり、他の人に病気をうつす可能性があります。

※ また、手を洗うことでも病原体が広がらないようにすることができます。

※厚生労働省ホームページから抜粋

今後の最新状況に応じて適宜対応・ご連絡してまいります。是非ともご理解とご協力をお願いいたします。